

DED T 機能追加 / 変更情報

- ・レコード結合，分割（機能追加）（固定長レコードファイルのみ）
レコード結合を行う場合，出力レコード長は4096バイト以内である．
- ・データタイプ，リテラルで日本語項目指定（機能追加）
データタイプで‘N’と指定し，リテラル内に日本語を指定する．
- ・VSAMファイルの取扱い編成（機能追加）
KSDSだけでなくESDS，RRDSの入出力を可能とした．
- ・VSAMファイルのアクセス名（変更）
‘VS’，‘DB’で始まるものを対象とし，‘KS’は一般ファイル扱いとした．
- ・件数リストの出力形式（変更）
(MOV)，(INS) 件数を無条件に出力していたが制御文の指定がある場合のみ出力する．
- ・10進数値項目符号の特別処理（機能追加）
絶対値（SA），固定符号（SB），逆転符号（SC）の指定を可能とした．
- ・制御文のチェック強化，エラーコード（変更）
データ型と比較記号，MATオペランド，KEYオペランド，EJEオペランド等のチェック強化．
- ・入力ファイルの取扱い媒体（機能追加）
FPDを入力として扱える様に修正した．従来は出力だけしか扱えなかった．
- ・項目照合処理におけるキー項目照合（機能追加）
KEYオペランドの追加により，キー項目照合を可能とした．（昇順または降順）
----- <西暦2000年問題対応済>
- ・出力件数指定（OC）でレコード分割指定（DV）の扱い（変更）
入力データ単位で比較するので出力件数がOC指定より多くなる場合が発生する．
- ・COIN，LISTファイルのRL，BF（変更）
COINのRL：80 80バイト以上，LISTのBF：14 28に変更した．
- ・RDB（DB/E）データベースの取扱い（機能追加）
RDB（XSP，MSP），DB/E（ESP）データベースを入力可能とした．
- ・日付，時刻，入力ファイル1のレコード番号の出力編集（機能追加）
処理開始時点の日付，時刻，入力ファイル1のレコード番号の出力編集を可能とした．
- ・31ビットアドレス拡張対応（機能追加：ロードモジュールの動作制限解除）
24ビットアドレス 31ビットアドレスモードでの動作を保証した．
- ・リテラル編集でのLTR文の取扱い（変更）
リテラル編集で，LIT文の他にLTR文の指定も可能とした．
- ・CNTCHKパラメータの追加（変更）
DED T文のNCパラメータがなくなり，代わりにCNTCHK = YES / NOを追加した．省略時はNO扱い（V09までのNC指定と同じ）となります．
- ・制御文でオペレーション部の日本語指定（機能追加）
/ DED T **データ** など（詳細は「使用手引書」を参照）

- ・ 処理対象データの指定方法（機能追加）
S E L文で奇数番目 / 偶数番目のデータを処理対象に指定可能とした。
- ・ 日本語オペレーション / ファイル、選択（変更）
データ ファイル、抽出 選択（隠し機能で旧オペレーションも指定可能）

DED T障害修正情報

- ・ 1ジョブステップ 内での複数処理時におけるファイル編成の取扱い順序（障害修正）
一般ファイル，V S A Mファイルが混在する場合，一般ファイルを先に処理しないと異常終了する．
- ・ 1ジョブステップ 内での複数処理時におけるM A T文の異常終了（障害修正）
2 回目のM A T文の処理時に異常終了する．
----- <西暦2 0 0 0年問題対応済>
- ・ 1千万件を越えたデータの消滅（制限解除 / 障害修正）
データ件数が1千万件を越えた場合に残りのデータが消滅していたのを，エラー表示し，異常終了とする．
隠しパラメータ（D E D T文のN Cオペランド）による対応は可能であるが，処理件は下7桁しか表示しないので注意が必要である．
- ・ S E L文 / M A T文の処理で異常終了（障害修正）
従比較項目が内部10進形式の場合，O C 7で異常終了する．
- ・ 4バイトの固定小数点リテラルで異常終了（障害修正）
S E L文 / L I T文で、4バイトの固定小数点リテラルを指定すると異常終了する．
- ・ L I T文のリテラル編集で異常（障害修正）
L I T文（L T R文）のリテラルで，最初の1バイトが16進の' F A ' ~ ' F C ' である場合、' 0 9 1 X ' で異常終了するか処理結果が保証されない場合がある。
（データタイプがF，X，Bの場合）
- ・ 1千万件を越えるデータの処理で異常終了（障害修正）
同一ジョブステップ内の最後のD E D T文の処理において，N C指定してもデータ件数が1千万件を越えるとエラーコード' 0 9 9 X ' で異常終了する．
また，N C指定した場合もI C，O Cの指定値が有効となる．
- ・ 固定長レコードから可変長レコードに形式変換する場合に、「入力レコード長 - 4」バイトしか出力できない。また、システムエラーコードがO C 4や9 0 0（X S Pの場合のコード）で異常終了したり、結果がおかしい場合が稀に発生する。

S Eライブラリ「D E D T（V 0 5 L 1 2）」は，1999年12月で保守打切りとさせて頂いています。S D C商品への切替をお願いします。

が前回（V 1 0 L 1 1）， が今回（V 1 0 L 1 2）の変更箇所です。

富士通岡山システムエンジニアリングのサイトで情報提供しています。

<http://jp.fujitsu.com/foe/services/dedt/>